

関西の製造業を支えるFA機器商社

株式会社サンセイテクノス



代表取締役社長 浦野 英幸

時代を見通し、FA機器分野へ進出

株式会社サンセイテクノスは、FA(ファクトリー・オートメーション)に関する制御機器・電気機器を中心に、電子部品や電設資材等を取り扱うとともに、FAシステムの設計まで手掛ける独立系商社だ。支店は関西4カ店と名古屋市のみだが、三菱電機(株)、IDEC(株)、オムロン(株)等の取扱店として全国第1位の販売実績を誇り、創業以来69年間黒字決算を続いている。同社は、①国内外約1,300社に及ぶメーカーの商品を取り扱う、②常時2万点の在庫を有し、顧客の注文に即応する、③自社の技術部でFAシステムをオーダーメイド設計・施工する等、競合他社を圧倒する強みを持つている。

同社は浦野英幸社長の父である正一氏が、

復員後の1946年11月に大阪市北区船大工

町(現・堂島)で創業した。ビルの一角を借りて、

最初の半年程は配給された化粧品等を販売し

たそうである。

「何とか商売を軌道に乗せたいと必死だつ

たのだと思います。やがて電機メーカーに勤

める知人から電熱器や扇風機を融通してもら

い、家電製品を販売するようになりました。」

当時の売上台帳を今も大切に保管している

という浦野社長が回想される。

48年に梅ヶ枝町に移転し、この頃からモーター部品やワットメータ等の電気機器を取り扱うようになつた。

「電力会社があつた同町には、電気機器メーカーが集まつてましたので、自ずとそれらのメーカーから製品の販売を依頼されるようになりました。IDEC(株)、安川電機等は当

時からの取引先です。」

その後、同社の取扱商品は家電製品から産業用電気機器にシフトしていく、54年には法人化、社名を株式会社三星商会とした。事業は着実に拡大していくが、収益面では人件費の高騰等が次第に足を引っ張るようになつたほか、人事上の対立等も発生したため、70年には正一氏が廃業を考えるに至つた。そのとき、21歳だった浦野社長が同社を継ぐ意向を宣言したのである。浦野社長は電気機器について独学する中で、工場全体を自動化する、いわゆるFAに興味を持っていた。

『日本の製造業の発展のためにベースを担うFAが不可欠』との考えに至つたのです。』

50年代から、切る削るといった独立した工程

結果として、数多くのメーカーを取り扱えるという特長の原型が形成されたほか、営業に苦労した分、提案力は強化された。

「各メーカーは製品をつくるときに、自分たちの最高技術を駆使します。廉価版はあまり取扱品目・メーカーがどんどん増加していくませんでした。」

お客様の用途、予算を勘案して最適の製品を提案できます。このような提案を繰り返すうちに、製品の販売だけでなく、FAシステム全体の設計も手掛けるようになりました。」

80年代、産業界にFA化の波が押し寄せる

と、同社は他の追随を許さない地位を築くことになる。

技術部、大型物流センターを持つ商社

『顧客感動』を社是とする同社は、時代の変化に常に敏感だ。

「国内のFA化が一巡すると、商社の流通機能は役割を減じていくのではないかとの危機感を持っていました。そこで、新たな付加価値を生むために、86年に技術部を立ち上げ、97年には社名を(株)サンセイテクノスとしました。」

技術部発足の目的は、FAシステムの設計、機器の調達、システム施工までを一貫して行うことについた。今でも、顧客に最適な提案ができるよう、あらゆるメーカーの製品研究に余念がない。

モノづくりに敬意を抱く社員教育

同社の物流センターには、一見その場に不相応なものが隣接する。1万5千平方メートルの『ファーム(農園)』と『サンセイミュージアム』だ。これは、社員教育のための施設である。

「社員にはモノづくりに対する敬意を忘れ

ずにして欲しいのです。私達が取扱う商品は、

メーカーの方の努力で作られた製品です。他方でお客様は、私達が販売した商品を使って、新しい製品を生み出される。その苦労を当社の社員が実感することは、なかなか難しいことです。そこで、当社社員に農業を通じてモノづくりの難しさを知つてもらうほか、古代の瓦や土器に触ることで、大量生産が文明の発展に寄与してきたことに想いを馳せてもらいたいと考えています。また、人間国宝の作品を観て、一点しかないとされる人が訴える力を感じ、各人がモノづくりについて深く考えてくれれば有難いと思っています。」

来年には、長男の俊明氏(現・副社長)が社長を引き継ぐ予定だ。

「ファームを整備していると、草を刈つて太陽の光が届くようになった地面に、ツクシやアザミが勝手に生えてきます。自然の生命力を目の当たりにすると、私も会社を次世代に引き継いでいくために、今できる最大限の努力をしなければならないと実感します。」

座右の銘は、父・正一氏と同じく『至誠通天』。

多数の人材を残した吉田松陰の言葉である。



本社ビル(大阪市淀川区)には、同社が誇る「技術センター」が隣接する。



2009年に完成した大型物流センター(堺市)。2万点の在庫は最新のバーコード入出荷システムで管理している。



社員教育の場として機能する「ファーム」。

株式会社サンセイテクノス

代表者:代表取締役社長 浦野 英幸

創業:1946年11月

資本金:9,450万円

従業員:311名

所在地:大阪市淀川区西三国
1丁目1番1号

T E L:06-6398-3111(代表)

事業内容:電気機械器具の販売、
FAシステムの設計など